

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立豊海小 学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国 語	【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4・5年生は、すべての項目で平均を上回っている。6年生は、8項目中6項目が全国平均を上回っている。しかし、区平均と比べると、「説明文の内容を読み取る」「言葉の学習」の領域で下回っている学年が多く、実際に話し合う活動の経験不足や、読書量の少なさが推測される。また、漢字の読み書きについても点数が低下しており、基本的な語彙力に課題がある。 【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4～6年生は、すべての項目で平均を上回っている。区平均と比べると、「話し合いの内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」の領域で下回っている。実際に話し合う活動の経験不足や、読書量の少なさが推測される。また、言葉の学習内容や文章全体を読み取ることに課題がある。
算 数	【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4・5年生は、すべての項目で平均を上回っている。6年生は、10項目中9項目が全国平均を上回っている。しかし、区平均から見ると、どの学年も下回る領域が多く、基礎的な四則計算の定着に課題が見られる。計算の過程についての理解や、定着について、該当学年だけの課題ではなく、低学年での習熟不足や、系統的な学習指導に課題がある。 【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4～6年生は、すべての項目で平均を上回っている。区平均と比べると、4年生は、9項目中6項目、5年生は、10項目中8項目、6年生は、10項目中3項目下回っている。特に、かけ算・わり算などの学習の定着に課題が見られる。
社 会	【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、4年生は、全国平均と比べると、8項目中5項目で平均を上回っている。5年生は、6項目中5項目が全国平均を上回っている。6年生は、9項目中6項目が全国平均を上回っている。区平均から見ると、各領域の基礎的な問題で正答率が下回っており、特に、区の様子や自然災害からくらしを守る、国土や地域の様子、産業について課題がある。 【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4年生は、8項目中5項目、5年生は、6項目中5項目、6年生は、9項目すべてが全国平均を上回っている。区平均から見ると、4年生は、8項目中2項目、5年生は、6項目中3項目、6年生は、9項目中1項目下回っている。特に、工場の仕事やくらしをささえる水、自然災害からくらしを守る一水害、自動車を守る工業について課題がある。
理 科	【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、4年生と5年生はほとんどの項目で全国平均を上回っている。6年生は多くの項目で全国平均を下回っている。区平均と比べると、4年生は、身近な自然や生物の生態についての理解に課題がある。5年生は、「物の体積と力」「物の体積と温度」「物のあたたまり方」が区の平均点より大きく下回っている。6年生は、「流れる水のはたらき」「ふりこのきまり」「物のとけ方」の理解に課題がある。事物・現象を既習内容や生活経験などと関連付けたり意味付けさせたりする確かな理解とする力が乏しい。 【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、全国平均と比べると、4年生は、11項目中9項目、5年生は、12項目中9項目、6年生は、10項目中6項目が全国平均を上回っている。区平均と比べると、4・5年生は、7～8割ほど、6年生は5割の項目が区平均より下回っている。特に4年生は、「光の性質」「太陽と地面のようす」、

	5年生は、「物の体積と温度」「物のあたため方」、6年生は、「電流のはたらき」「人のたんじょう」の理解に課題がある。
英 語	【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、9項目中7項目で全国平均を上回っている。しかし、区平均と比べると、「アルファベットの読み（聞く）」「単語の読み」「英文の完成」「英作文」が平均を下回っている。身近な語彙の意味理解の定着、自分から自信をもってコミュニケーションを取れるようにするための反復練習が十分でないことが課題である。 【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、すべての項目で全国平均を上回っている。一方、区平均と比べると、特に、「アルファベットの書き」「全体会話の理解（聞く）」「単語の読み」「アルファベットの読み（聞く）」が下回っている。身近な英単語の意味理解が不足し、学習内容を日常生活や経験を結び付けて、聞いたり書いたりする力に課題が見られる。
体力向上	【4月】 「令和6年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」において、「長座体前屈」の平均値が、全国の平均を下回っている学年が多くあった。体の柔軟性の向上が課題である。 【10月】 「令和7年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」において、男子の全体評価がC評価からB評価へ上がっている。「長座体前屈」「ボール投げ」の平均値が、全国の平均を下回っている学年が多くあった。体の柔軟性や投動作に必要な基礎的な体力向上が課題である。

2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、実施学年で「説明文の内容を読み取る」「言葉の学習」の領域で区の平均点を上回るようにする。 【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」において、「話し合いの内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」の領域で区の平均点を上回るようにする。	朝学習をはじめとして、ドリル学習を学習の中に計画的に帯設定し、言語の既習事項の習熟を図るために音読や作文する活動を積極的に取り入れていく。読書習慣が身に付くように、継続的に読書の時間を確保し、読解力・理解力を高めていく。話し合い活動や発表の活動を積極的に取り入れ、相手意識や目的意識を明確にするためのめあてを設定し、児童が主体的に学習に取り組むようにする。説明文の構成パターンを理解させるために、尾括型、双括型、頭括型など、大切なことがどこに書かれていて、なぜ事例が挙げられているのかといった構成上の筆者の意図を考えさせるための指導をする。話し方の話型を学年に合わせて作成し提示する。正しい漢字の使い方や、文章を書く中ですすんで漢字を活用できているかを確認する。
算数・数学	【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、実施学年で「数と計算」「図形」項目で区の平均点を上回るようにする。 【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」において、「かけ算」「わり算」が関連する項目で区の平均点を上回るようにする。	朝学習をはじめとして、ドリル学習や100マス計算などの基礎力を高める学習を計画的に設定し、四則計算力を高める。また、各単元の指導の前に行うレディネステストを活用し、本単元の学習に必要な基礎基本の定着の度合いを確認した上で指導計画を立て、授業を展開していく。本校の補習教室である「豊海塾」では算数に特化して行い、基礎基本の定着を図っていく。授業では既習を

		生かして自分の考えをまとめたり説明したりする活動を毎時間設定する。図形の学習では、具体物やデジタル教材を使うことで、空間認知力を高める。
社 会	【４月】 「令和７年度学習力サポートテスト」において、実施学年で区の様子や自然災害からくらしを守る、国土や地域の様子、産業区の平均点を上回るようにする。 【１０月】 「令和８年度学習力サポートテスト」において、工場の仕事やくらしをささえる水、自然災害からくらしを守る一水害、自動車を守る工業についての項目で区の平均点を上回るようにする。	それぞれの事象について課題意識をもったり、地域素材を学習に取り入れて自分事として捉えたりする授業を展開することで、問題と調べて分かったことを結び付けて理解したり考えたりできるようにする。視覚化した映像資料を活用し、学習内容と身近な事象を関連させて捉えられるような授業を展開し、内容の補足や定着を図っていく。
理 科	【４月】 「令和７年度学習力サポートテスト」において、実施学年で身近な自然や生物の生態についてや「物のあたたまり方」「ふりこのきまり」領域の平均点を上回るようにする。 【１０月】 「令和８年度学習力サポートテスト」において、「光の性質」「太陽と地面のようす」「物の体積と温度」「物のあたたまり方」「電流のはたらき」「人のたんじょう」の領域で区の平均点を上回るようにする。	事物・現象について、観察や実験を行う環境を整え、方法や設定を試行錯誤したり、自然や日常生活において当てはまるものや実体験をもとに考察したりする授業展開にする。また、単元の初めと終わりには、必要な知識の確認を行ったり、ドリル学習を計画的に設定したりする。視覚化した映像資料を活用し、授業内容の補足や定着を図っていく。実験の予想を立てる際には、身近な事象との関連を理由付けとして挙げさせるなど、筋道を立てて物事を考える学習習慣を定着させていく。
英 語	【４月】 「令和７年度学習力サポートテスト」において、実施学年で「アルファベットの読み（聞く）」「単語の読み」「英文の完成」「英作文」の項目で平均点を上回るようにする。 【１０月】 「令和８年度学習力サポートテスト」において、「アルファベットの書き」「全体会話の理解（聞く）」「単語の読み」「アルファベットの読み（聞く）」の項目で区の平均点を上回るようにする。	単元設定において、必然性のある、学習内容の選定を行い、計画を立てる。聞く活動を重視した授業展開の中で、耳慣れした英語表現を使って話すことに慣れさせていく。練習時間を十分に確保し、交流する場を設け、英語で会話する機会を意図的に増やしていく。
体力向上	【４月】 「令和７年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣調査」において、「長座体前屈」の項目で、どの学年でもＴスコアが前年度を上回るようにする。 【１０月】 「令和８年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」において、「長座体前屈」「ボール投げ」の項目で全国の平均値を上回るようにする。	柔軟性、投動作の向上につながる運動を予備運動に毎時間取り入れる。また、休み時間でも取り組めるような遊びを紹介し、日常化を図る。場所の確保として、体育館や屋上にも教材や場の設定を行い、少しでも体を動かせる環境を整えていく。マイスクールスポーツの時間を確保し、基礎体力の向上に努めていく。学校として体力・運動能力の向上が図れるように系統的な指導計画を意識した指導を行っていく。

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」として、個別で学習課題に取り組んだ後、ペアやグループで意見や考えを共有し、学び合いを行い、さらに個別で学びを深めるような学習活動を展開していく。また、児童のニーズや特性に合わせて多様な学習の場を設定したり、ＩＣＴを効

	果的に活用したりする等、指導の工夫を行っていく。
--	--------------------------

探究的な学びの充実	
取組	理科の学習では観察や実験を行う環境を整え、方法や設定を試行錯誤したり、自然や日常生活において当てはまるものや実体験をもとに考察したりする授業展開を行っていく。社会科や総合的な学習の時間では、課題意識をもたせ学習に取り組ませていく。また、どの学習においてもタブレット端末を活用し、分からないことを調べさせたり、まとめさせたりしていくことで、探求的な学びを充実させていく。

読解力の育成	
取組	図書委員会を中心とした読書の啓発活動、朝読書やりぷりんと・中央区による読み聞かせの取組などで読書の時間を設ける。さらに、朝日小学生新聞の購読・配架（毎日）を実施することで、幅広い読み物に親しむ機会を与える。読書活動で培った力を活用し、国語をはじめとした様々な教科で文章を正確に読み取ったり、関連付けたり、根拠として述べたりと読解力の育成に繋げていく。